

平成30年度社会福祉法人喜多方市社会福祉協議会事業報告

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

I 総務事業部門

1. 法人の運営

(1) 理事会・評議員会の開催

【理事会】

平成30年 5月30日 ○平成29年度事業報告について
○平成29年度社会福祉事業会計収支決算について
○評議員候補者（補欠）の推薦について
○平成30年度定時評議員会提出議案について
※出席者 理事12名、監事1名

平成30年12月21日 ○平成30年度上期事業執行状況について
○平成30年度上期社会福祉事業会計収支状況について
○健全経営の取り組みについて
○平成30年度社会福祉事業会計収支補正予算＜第1次＞について
○評議員会の開催について
※出席者 理事12名、監事1名

平成31年 3月22日 ○平成30年度社会福祉事業会計収支補正予算＜第2次＞について
○平成31年度事業計画について
○平成31年度社会福祉事業会計収支予算について
○事務局規程の一部改正について
○就業規則の一部改正について
○嘱託職員及び臨時職員雇用管理規程の一部改正について
○評議員会の開催について
※出席者 理事8名、監事1名

【評議員会】

平成30年 6月15日 ○平成30年度事業報告について
○平成30年度社会福祉事業会計収支決算について
※出席者 評議員17名、会長、常務理事、監事1名

平成30年12月21日 ○平成30年度上期事業執行状況について

- 平成 30 年度上期社会福祉事業会計収支状況について
- 健全経営の取り組みについて
- 平成 30 年度社会福祉事業会計収支補正予算＜第 1 次＞について

※出席者 評議員 14 名、会長、常務理事、監事 1 名

- 平成 31 年 3 月 22 日 ○平成 30 年度社会福祉事業会計収支補正予算＜第 2 次＞について

- 平成 31 年度事業計画について

- 平成 31 年度社会福祉事業会計収支予算について

※出席者 評議員 13 名、会長、常務理事、監事 1 名

(2) 監事会の開催並びに会計指導の実施

【監事会】

- 平成 30 年 5 月 23 日 ○平成 29 年度事業報告並びに社会福祉事業会計収支決算についての監査

※出席者 監事 2 名、会長、常務理事

- 平成 30 年 12 月 6 日 ○平成 30 年度上期事業報告並びに社会福祉事業会計収支状況についての監査

※出席者 監事 2 名、会長、常務理事

【委嘱会計事務所による会計指導】

- 平成 30 年 5 月 2 日 ○平成 29 年度決算に係る会計指導

(3) 評議員選任・解任委員会

- 平成 30 年 4 月 4 日 ○評議員の選任について

- 平成 30 年 6 月 4 日 ○評議員の選任について【書面議決】

(4) 正副会長会議の開催

理事会、評議員会の提出議案等の協議を行った。

平成 30 年 5 月 25 日

平成 30 年 9 月 5 日（三役打合せ会議）

平成 30 年 12 月 7 日

(5) 賛助会員の拡充

8 月を賛助会員加入強化月間と位置づけ、本会の活動に対する理解を頂くため、現会員の事業所、団体等に訪問し継続加入の依頼を行なった。

※ 訪問企業・事業所等 179 件

(6) 第14回喜多方市社会福祉大会の開催

社会福祉関係者はもとより広く市民の方々が一堂に会し「ふれあいと喜び多いまちづくり」を推進していくことを誓うとともに、併せて社会福祉の発展

開催日 平成30年11月21日(水)
会場 喜多方市総合福祉センター
表彰 社会福祉大会長表彰 3件 社会福祉大会長感謝 5件
共同募金会長感謝 24件
記念講演 「伝えることの大切さ、伝わることのすばらしさ」
フリーアナウンサー 大和田 新 氏
参加者数 380名

(7) ふれあい社会福祉講座の開催

社会福祉を正しく見る目と豊かな創造力を養うことにより、社会福祉の進展に資することを目的として、ふれあい社会福祉講座を開催した。

第1講 平成30年7月4日(水) 午後1時30分 (103名)
テーマ 「会津三十三観音の魅力について」
講師 歯科医師 志田 公 司 氏
第2講 平成30年7月11日(水) 午後1時30分 (117名)
テーマ 「大腸癌診療の最前線」～カプセル内視鏡って何?～
講師 公立大学法人福島県立医科大学 会津医療センター
小腸・大腸・肛門科学講座 教授 富 樫 一 智 氏
第3講 平成30年7月19日(木) 午後1時30分 (89名)
テーマ 「金融機関から見た 知って得する終活講座」
講師 株式会社東邦銀行 法人営業部 調査役 馬 場 貴 裕 氏
○聴講者延べ 309名 三講聴講者 66名

(8) 『社協だより』の発行とホームページ・フェイスブックによる情報発信

①社協だより・・・社協の事業や福祉に関する情報、各種福祉団体の活動紹介など
総合的な福祉情報の提供をするため全戸に配付

発行：5月、8月、11月、2月(4回) 発行部数：18,500部

②情報発信ツールの利活用・・・本会の事業内容を幅広い市民層に周知するためホームページ及びフェイスブックを活用し情報発信した。

※ホームページアドレス <http://www.kitakata-shakyo.or.jp>

年間閲覧者数 79,442件

※フェイスブックアドレスについては本会ホームページより参照

年間閲覧者数 7,934件

(9) 児童館の活動支援

父母の共働きや疾病、その他の理由により十分な保護育成ができない世帯等の児童に、健全な遊びや運動・製作活動・社会研修等を体験させる児童館等運営事業に、

児童厚生員を配置しその運営支援に努めている。

児 童 館 等 名	登録児童（幼児・学童）数
中央児童館	53名
上三宮児童館	15名
岩月児童クラブ館	56名
関柴児童館	40名
熊倉児童クラブ館	38名
慶徳児童クラブ館	25名
豊川児童館	48名
喜多方児童クラブ館	118名
松山児童クラブ館	69名
しきみ児童クラブ館	74名
計	536名

（※喜多方地区内の児童館等について市より一部受託）

（10）介護職員養成・定着化事業（介護パワーアップ事業）

1）介護職員初任者研修

地域における介護職員不足の解消を図るため、介護人材の育成を目的として介護初任者研修を実施した。

・夜コース 平成30年7月3日から12月27日まで 受講者15名

※昼コースは受講希望者1名のため中止（他研修機関を紹介し対応）

2）介護の職場体験事業

介護の職場での就労を希望する市民等の職場体験の場を提供するため、市内の介護施設、事業所とのコーディネートを行った。

利 用 者：4名 延10日間

実施事業所：3事業所

3）介護人材の定着を考える研修会

開催日：平成30年12月6日（木）

テーマ：「介護事業所の人材定着に向けたマネジメントを考える」

講 師：介護労働安定センター

介護人材コンサルタント 柿 沼 充 氏

4）キャリアアップ研修支援事業

市内施設勤務の介護職員等の初任者研修受講・実務者研修受講及び介護福祉士の資格取得を促進し、従業者の安定的雇用につなげるため研修費用を助成した。

実務者研修受講者 6名

初任者研修受講者 4名

5) 介護職員就労定着奨励金事業

介護職として市内の同一事業所に1年以上就業した者に対し奨励金を支給した。

市内在住者 33名 市外在住者 6名

(11) 家族介護者交流事業の実施

介護をされている方々を対象に、心身の負担軽減と同じ介護者同士の交流を図ることを目的に家族介護者交流事業（リフレッシュ事業）を実施した。

・日帰りリフレッシュ事業（平成30年7月10日）

参加者：20名 行き先：山形県飯豊町（どんでん平ゆり園、農家レストラン）

・一泊リフレッシュ事業（平成30年10月11日・12日）

参加者：12名 行き先：相馬市松川浦、福島市

（介護者情報交換、震災復興祈念館、フルーツ狩り）

(12) 火災等災害見舞金交付事業

火災及び風水害等の自然災害で生命、住居等に被害のあった市民に対し地域福祉の住民相互の助け合いの趣旨に基づき災害見舞金を交付した。

交付件数：住居—火災（全焼） 2件

(13) 職員の資質向上

福島県社会福祉協議会や関係団体用が主催する職務や職階、テーマごとの研修会に参加するとともに、事業部門ごとに行う内部研修や、管理者会議でのミニ研修を通して職員の知識の習得と資質の向上を図った。

2. 福祉施設の管理運営

(1) 喜多方市総合福祉センターの管理運営

総合福祉センターの管理については、その目的達成のため最良な管理に努めた。また、高齢者福祉センターについては、高齢者の憩いの場として、また各種会合などに市民の方々から広く利用された。

高齢者福祉センター	利用人員	16,409名	（開館日数	314日）
多目的ホール	利用者数	6,647名	（利用回数	339回）
2階会議室	利用者数	2,823名	（利用回数	322回）

(2) 熱塩加納保健福祉センター「夢の森」の管理運営

市内で開催されたイベント等でのパンフレット配布、観光案内所、道の駅、コンビニエンスストア等にパンフレットの設置、更には、近隣の道路にのぼりを立てるなどし、誘客に努めた。

保養施設（温泉入場者）	営業日数	254日	延利用者数	55,217名
運動施設（ゲートボール場）	利用日数	175日	延利用者数	2,459名

(3) 塩川保健福祉センター「いきいきセンター」の管理運営

パンフレットを作成し各種イベントで配布したり、敬老の日に利用客（70歳以上）にキャンディを配り、日頃の感謝と、今後も引き続きご利用いただけるようにPR行った。

保養施設（温泉入場者）営業日数 298 日 延利用者数 21,416名

巡回福祉バス運行 延日数 87 日（1,340名利用）

(4) 生活支援ハウス事業（しゃくなげホーム・かたくり荘）

一人暮らし高齢者等を対象として、安全で安定した生活の場を提供し、自立の支援を図った。

○山都生活支援ハウス10部屋 1名入居（3月末現在） 延22名利用

○高郷生活支援ハウス 7部屋 3名入居（3月末現在） 延21名利用

(5) 高齢者生産活動センターの管理運営

「高齢者生産活動センター」を拠点とし、高齢者のコミュニティが一層拡大されるよう利用者の加入促進及び各グループの技術向上を図りながら、生産性の向上、販売先の開拓に取り組んだ。

また、センターまつりの開催、アートぶらりーへの参加や体験教室指導、各種イベントでの出店を行い生產品の販売と、会員募集、事業活動のPRに努めた。

平成30年度会員登録者数 137名 （※昨年度 147名）

3. 介護保険事業

(1) 介護保険事業について *** 別 掲 ***

(2) 在宅介護教室の実施

地域住民に適切な在宅介護の知識と技術を周知するとともに、本協議会サービスのPRにつなげるため在宅介護教室を開催した。

開催日：平成31年2月22日

テーマ：①「安全な歩行介助・車への乗降介助のしかた」

②「安心・快適なおむつの使い方」

参加者：12名

Ⅱ 地域福祉部門

1. 地域福祉事業

(1) 福祉活動支援金制度への理解と協力

自主財源となる福祉活動支援金の充実を図るため、行政区長会連合会並びに行政区に対して理解と協力を努めた。

福祉活動支援金実績額：6,400,450円（昨年度6,488,670円）

(2) 地域福祉活動計画の策定

喜多方市が策定する地域福祉計画と連動し、本協議会が進める地域福祉活動計画策定のため、基礎資料となる喜多方市実施の住民アンケート、福祉等機関・団体調査、地区懇談会の開催に協力した。

住民アンケート 9月実施

地区懇談会 7地区（中学校単位）で実施

(3) ふれあいきたかた社協まつりの開催

本会事務事業について、市民が気軽に参加できるイベントをとおして一層の理解を深めることを目的に「ふれあいきたかた社協まつり」開催した。

日時 平成30年9月1日（土）

会場 喜多方市総合福祉センター

参加者 335名

内容 ・パネルによる社協事業及び共同募金、福祉団体の取組み内容の紹介
・福祉スタディ「盲導犬とのふれあい」
・福祉寸劇～日常生活自立支援事業～
・高齢者擬似体験コーナー
・介護用品、最新福祉機器等の展示及び体験
・非常食体験コーナー及び災害備品等の展示
・まちかど相談室
・脳トレ、認知機能バランス等体験コーナー
・キッズスペース、模擬店、福祉バザー

(4) おもちゃ図書館事業の推進

全ての子供達が、おもちゃや本を通して人間性豊かに成長することを支援するとともに、保護者に交流の場を提供している。

本所	3月末利用人員延	3,885名	開館日数	96日
熱塩加納支所	3月末利用人員延	146名	開館日数	12日
塩川支所	3月末利用人員延	575名	開館日数	43日
山都支所	3月末利用人員延	3名	開館日数	4日
高郷支所	3月末利用人員延	12名	開館日数	4日

山都高郷合同 3月末利用人数延 36名 開催日数 5日
 計 3月末利用人員延 4,657名 開館日数 164日

(5) 子育て支援事業

○子育てイベントの実施

おもちゃ図書館の開催にあわせて、季節ごとのイベントを実施した。

第1回 こいのぼり製作	平成30年4月27日	34名参加
第2回 たのしい人形劇	平成30年5月22日	38名参加
第3回 ベビーマッサージ	平成30年6月26日	39名参加
第4回 セタ製作	平成30年6月29日	39名参加
第5回 プチ夏祭り(プチ映画会・流しそうめん)	平成30年8月21日	100名参加
第6回 ママと子どもの交通安全教室	平成30年9月25日	23名参加
第7回 リズム遊び	平成30年11月13日	55名参加
第8回 キッズ運動会	平成30年11月27日	58名参加
第9回 クリスマス製作	平成30年12月7日	66名参加
第10回 たのしい人形劇	平成31年1月22日	35名参加
第11回 豆まき	平成31年2月1日	39名参加
第12回 ひなまつり製作	平成31年2月22日	45名参加
第13回 もちつき	平成31年3月1日	45名参加
第14回 いちご狩り	平成31年3月13日	29名参加

○キッズスペースの設置

おもちゃ図書館開館以外の日でも、子どもや子育て中の保護者同士が交流できる居場所として、本年5月1日より常設のキッズスペースを総合福祉センター2階ロビー内に設置した。

3月末利用者数延 521名

(6) 心配ごと相談所の開設

市民の日常の心配ごと、困りごとの相談を受けることにより、市民一人ひとりが安心して暮らせる地域社会づくりに寄与するため、本・支所において心配ごと相談所を開設した。

<相談内容別内訳>

○生活費に関すること	71件	○年金に関すること	0件
○家族関係に関すること	5件	○就労に関すること	2件
○医療に関すること	5件	○生活全般に関すること	35件
○その他	52件	計	170件

(※介護相談、生活困窮者支援事業に関する相談は除く)

(7) 福祉と介護の出張講座

喜多方市内の小中学校及び高等学校の研修、講座等に職員の派遣を行った。

- ・喜多方市立第一小学校4学年生 平成30年6月16日(土) 参加者:79名
- ・喜多方市立第三中学校3学年生 平成30年6月28日(木) 参加者:87名
- ・福島県立喜多方高等学校2年生 平成30年9月4日(火)~7日(金)

参加者:158名

- ・喜多方市立第一小学校4学年生 平成31年2月21日(木) 参加者:79名
- ・介護職員初任者養成研修として耶麻農業高校へ9回の講師派遣

(8) 高齢者生きがい対策事業の実施

①陶芸教室の開催

高齢者のいきがいくりの一環として塩川地区と山都地区において陶芸教室を開催した。

塩川地区 会員数 37名(延べ 698名) 活動日数 96日

会員研修の実施 手びねり講習会22名、秋日帰り20名参加

山都地区 会員数 7名(延べ 54名) 活動日数 14日

②高齢者支援事業の実施

- ・上町地区模擬サロン事業(本所) 26名参加
- ・閉じこもり予防事業
 - 【集合昼食会】(山都支所) 20名参加
 - 【ぶどう狩り】(山都支所) 25名参加
 - 【観劇ほか】(山都支所) 25名参加
 - 【集合昼食会】(高郷支所) 14名参加
 - 【観劇・買い物】(高郷支所) 8名参加

(9) 福祉団体の育成支援

少子高齢社会の急激な進行と地域における連帯感の希薄化が進んでいる今般の現状を踏まえ、市民主体の活動を支援するため市内で活動している福祉団体の事務局として、育成支援を図った。

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1) 民生児童委員連合会 | 2) ふれあい福祉協議会 | 3) 老人クラブ連合会 |
| 4) 赤十字奉仕団 | 5) 日本赤十字社有功会 | 6) 手をつなぐ親の会 |
| 7) 身体障がい者福祉会 | 8) 福島いのちの電話 | 9) 瓜生岩子刀自顕彰会 |
| 10) 更生保護協議会 | 11) 遺族会連絡協議会 | |

(10) 車椅子貸し出し事業

高齢者や障がいの者の家族旅行や外出など短期間の車椅子使用に対応するため、無料貸出を行った。

貸出件数 25件 (喜多方8件、塩川13件、山都3件)

(11) NPO法人日本入れ歯リサイクル協会への協力

不要になった入れ歯を回収し、精製した貴金属をユニセフ募金を通して世界の子どもたちのために役立てる活動に協力した。

精製貴金属量 15.4g (19,636円)

(12) 資源回収の取組み (エコキャップ)

ポリオワクチンを開発途上国に贈るエコキャップ運動に賛同し、市内の学校、事業所、個人からの寄託を受け、回収業者へ納入するための支援を行った。

業者へ納入したエコキャップ 1,800キロ (ポリオワクチン換算 900人分)

2. ボランティアセンター事業

(1) 児童・生徒のボランティア活動普及事業の推進

① ボランティア協力指定校の指定

市教育委員会、各学校の協力を得て、心豊かな児童・生徒を育成するためボランティア協力校の指定及び活動を積極的に推進している。(市内全小・中学校)

○市社協の指定校 第一小学校、第二小学校、松山小学校、上三宮小学校、第三小学校、関柴小学校、熊倉小学校、豊川小学校、慶徳小学校、熱塩小学校、加納小学校、堂島小学校、塩川小学校、姥堂小学校、駒形小学校、山都小学校、高郷小学校、第一中学校、第二中学校、第三中学校、会北中学校、塩川中学校、山都中学校、高郷中学校

※交付額 50,000円 (1校につき)

○モデル校<新規>

ボランティア活動普及事業協力校の一層の活性化と、その取組みがモデルとなり他校へ波及させることを目的に、小学校1校・中学校1校をモデル校として指定し、また、事業推進にあたっての連絡調整を行った。

・モデル校 第一小学校、第三中学校 (平成30年度・31年度)

② サマーショートボランティアスクールの実施

夏休みを利用したボランティア体験の場として、サマーショートボランティアスクールを実施した。

喜多方地区	高校生	6名	中学生	3名
熱塩加納地区	中学生	10名	小学生	5名
塩川地区	中学生	4名	小学生	4名
山都地区	中学生	4名	小学生	1名
高郷地区	中学生	2名		

(2) 傾聴ボランティア事業

①養成講座の開講

市内施設等からの傾聴活動のニーズに対応するため、新たなボランティア活動者の発掘・養成を目的に傾聴ボランティア養成講座を開催した。

開催日 第1講 12月 4日 (14名参加)

第2講 12月11日 (14名参加)

第3講 12月18日 (13名参加)

講師 会津大学短期大学部 准教授 木村淳也 氏

修了者 13名 (全3講受講者)

修了者のうち新規ボランティア登録者 10名

②傾聴ボランティアのコーディネート

市内の12福祉施設(特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、グループホーム)を活動の場として、傾聴ボランティアのコーディネートを実施した。

ボランティア登録者数 19名

ボランティア活動回数(延べ) 191回

(3) 除雪ボランティア事業の実施

除雪作業を支援することにより、高齢者等の精神的・身体的負担を軽減し、地域における支え合い及び福祉の向上を図るため、除雪ボランティア事業を実施した。

熱塩加納地区

平成31年2月4日(土) 実施数16件 参加者125名

(4) 朗読・点訳ボランティア事業

①視覚障がい者を対象にした『声の広報』の編集・発行

朗読ボランティア「せきれいの会」の協力を得て、ボランティア会員が総合福祉センター録音室で、広報きたかたを朗読しテープに録音したものを、『声の広報』として希望者に郵送した。

○毎月1回・利用者 6名 朗読ボランティア 11名

②点訳ボランティアの養成

点訳サークル「eyeの会」では定期的に点訳の勉強会等を実施した。

○毎月1回・会員数5名

(5) 福祉レクリエーションボランティア事業

【福祉レクリエーションボランティアのコーディネート】

市内のサロン及びミニサロン等を活動の場として、福祉レクリエーションボランティアのコーディネートを実施した。

ボランティア登録者数 7名

ボランティア活動回数 13回

(6) 子育て支援ボランティア事業

【子育てボランティアのコーディネート】

本会で実施しているおもちゃ図書館を活動の場として、子育てボランティアのコーディネートを実施した。

ボランティア登録者数 2名

ボランティア活動回数 22回

(7) 児童生徒の福祉作文集『ちいさなて vol. 14』の発行

市教育委員会及び市内のボランティア協力指定校の協力を得て、児童・生徒の福祉に関する思いや考え、日常や学校でのボランティア体験等を綴った作文を募集し、福祉作文集『ちいさなて vol. 14』を発行した。

(8) 福祉ボランティア等活動事業

- | | | |
|----------------------------|------|---------|
| ・一人暮らし高齢者宅訪問ボランティア（熱塩加納地区） | 1回実施 | 18名参加 |
| ・炊き出し訓練事業（塩川地区） | 1回実施 | 56名参加 |
| ・エルムホーム夏祭り協力（塩川地区） | 1回実施 | 5名参加 |
| ・修養団との地域ボランティア（山都地区） | 1回実施 | 64名参加 |
| ・炊き出し訓練（高郷地区） | 1回実施 | （23名参加） |
| ・かたくり荘清掃ボランティア（高郷地区） | 3回実施 | （56名参加） |

(9) 福島県社協との協働による地域の福祉力向上事業

「気軽にはじめよう！身近なボランティア」の開催

県社協との共同主催により、地域のボランティア活動及び災害時の支えあいの啓発事業として実施した。

開催日 平成31年1月19日（土）

参加者数 129名

発表者等 福島県立喜多方東高等学校 家庭クラブ

ボランティア団体「スマイル」 栢場 真弓 氏

パトラン JAPAN 渡部 信隆 氏

講師 Nukiito 代表 高山 弘毅 氏

協力団体 喜多方市ボランティア連絡協議会

福祉レクリエーションボランティア ぱちぱちガールズ

3. 生活支援体制整備事業（地域包括ケアシステム推進）

地域における支え合いのまちづくりを推進するため、地域の生活実態、ニーズの把握に努めるとともに、支え合いの仕組みを住民主体で話し合う場「生活支援支え合い会議」の設立に取り組んだ。

(1) 第2層生活支援コーディネーター業務（1名配置）

- ・地域の現状と課題の把握に努めた。

項 目	件 数
訪 問	1 5 0 件
来 所	3 5 件
電 話	1 7 4 件
その他	6 件
計	3 6 5 件

(2) 第2層生活支援支え合い会議の設置

<熊倉地区> 平成30年8月7日設置

熊倉地区生活支援支え合い会議 愛称「キラキラ里の会」

委員数 12名

熊倉町民生児童委員(会長、副会長) 熊倉町公民館長

熊倉町行政区長会(会長、副会長、地区代表区長)

市役所(高齢福祉課職員、第1層生活支援コーディネーター)

社協(第2層生活支援コーディネーター、地域包括支援センター職員)

取り組み状況

地域課題に向けての話し合いを行うために、地区の社会資源についての話し合いや地区の情報を共有して地域を知り、再確認している。

- ・生活支援支え合い会議設立に係る連絡調整 18回
- ・設立に向けた説明会及び準備会 10回
- ・生活支援支え合い会議の委員数 12名
- ・生活支援支え合い会議運営に係る連絡調整 7回
- ・生活支え合い会議の運営 5回
- ・行政区長及び民生児童委員、公民館長等への生活支援支え合い会議設立に向けた説明会、連絡調整 42回

<熱塩加納地区> 平成30年8月29日設置

熱塩加納地区生活支援支え合い会議 愛称「おたがいさま広場」

委員数 15名

熱塩加納地区ふれあい福祉協議会会長 熱塩加納町公民館長

熱塩加納町民生児童委員協議会会長 熱塩加納町行政区長会長

住民代表(5名) 市役所(高齢福祉課職員、熱塩加納総合支所職員)

社協(第2層生活支援コーディネーター、地域包括支援センター職員、地域福祉課職員)

取り組み状況

除雪支援やデマンド交通等についての勉強会を中心に制度や仕組みを考え、地域の実情と照らし合わせながら話し合いをしています。また、支え合いの日について

て検討した。

- ・生活支援支え合い会議設立に係る連絡調整 41回
- ・設立に向けた説明会及び準備会 30回
- ・生活支援支え合い会議運営に係る連絡調整 12回
- ・生活支え合い会議の運営 7回
- ・行政区長及び民生児童委員、公民館長、ふれあい福祉協議会等への生活支援支え合い会議設立に向けた説明会、連絡調整 64回

(3) 他機関・団体等の連携

- ・高齢福祉課及び総合支所住民課との打ち合わせ 随時
- ・地区公民館 8ヶ所
熊倉公民館 岩月公民館 関柴公民館 上三宮公民館 松山公民館
慶徳公民館 豊川公民館 熱塩加納公民館
- ・支部社協 3ヶ所
喜多方市社会福祉協議会熊倉支部
喜多方市社会福祉協議会松山支部
喜多方市社会福祉協議会支部代表者会議
- ・ふれあい福祉協議会 1ヶ所
熱塩加納地区ふれあい福祉協議会
- ・包括連絡会への出席 12回
- ・喜多方地区民生児童委員協議会 27回
- ・社協広報紙(社協だより)への掲載 平成30年11月1日号

(4) 「ふれあいいきいきサロン」の開設(34箇所)

高齢者の交流を深め、助け合い・支え合いながら健康で楽しい生活を送っていただくことを目的に「ふれあいいきいきサロン」の開設と運営を支援している。

松が丘いきいきサロン	喜多方	桜ガ丘いきいきサロン	喜多方
村松三区いきいきサロン	喜多方	清水台いきいきサロン	喜多方
関柴地区いきいきサロン	喜多方	東四ッ谷いきいきサロン	喜多方
ひばりが丘いきいきサロン	喜多方	上三宮二区いきいきサロン	喜多方
渋井いきいきサロン	喜多方	寺町いきいきサロン	喜多方
花園いきいきサロン	喜多方	譲屋いきいきサロン	喜多方
桜町ふれあいサロン	喜多方	菅原町ユーアイサロン	喜多方
幸町いきいきサロン	喜多方	栄町いきいきサロン	喜多方
針生ひだまりサロン	熱塩加納	野辺沢いきいきサロンたんぼぼ	熱塩加納

新崎いきいきサロンお達者クラブ	熱塩加納	半在家いきいきサロン	熱塩加納
柴城地区いきいきサロン	塩川	上窪地区いきいきサロン	塩川
別府いきいきサロン	塩川	塩川地区いきいきサロン	塩川
藤沢いきいきサロン	山都	広野いきいきサロン	山都
小布瀬原いきいきサロン	山都	ふなひいきいきサロン	山都
木曽いきいきサロン	山都	千咲原いきいきサロン	山都
松ヶ丘いきいきサロン	山都	館原いきいきサロン	山都
西黄地区いきいきサロン	高郷	寺内いきいきサロン	山都

○ふれあいいきいきサロン世話人連絡会の開催

日 時 平成31年 3月 7日

内 容 サロン活動推進に係る情報提供等

(5) ミニサロン等交付事業

福祉活動支援金を財源として、地域の絆を築く交流事業等に対して交付金を交付し活動の支援を図った。

ミニサロン等事業 13箇所

交流事業 9箇所

交付額計 210,000円

(6) 支部社協事業の活動支援

1) 支部社協活動への支援

安心して暮らせるまちづくりの形成を地域全体で推進していくための支部社協活動の推進に協力した。

支部名	設立年月日	支部名	設立年月日
慶徳支部	平成 9年 8月24日	関柴支部	平成12年 3月12日
松山支部	平成10年 3月14日	熊倉支部	平成13年10月10日
岩月支部	平成11年 2月11日	上三宮支部	平成17年 9月 7日
豊川支部	平成11年 7月21日		

2) ふれあいネットワーク事業（支部社協事業）

ひとり暮らし高齢者を対象として生活支援活動や見守り活動を行う「ふれあいネットワーク事業」を実施した。

ネットワーク 活動延べ件数	3,152件	慶徳地区 2,632件 松山地区 520件
------------------	--------	-----------------------

3) 支部社協代表者会議の開催

7支部社協の代表者による情報交換を行い、活動の充実を図る目的により代表者会議を1回開催した。

(7) 日常生活自立支援事業

日々の生活に不安を抱える高齢者や障がい者の方々が安心して暮らせるために、金銭管理等を行う地域福祉権利擁護事業を積極的に推進している。

3月末契約件数 7件

4. 地域包括支援センター事業

高齢者の方々が住み慣れた地域で要介護状態にならないよう予防対策に取り組むとともに、総合相談及び支援、権利擁護事業、ケアマネジメント支援を積極的に推進した。また、喜多方市高齢福祉課との連携を密にし、虐待や認知症等の困難ケースの対応を図った。

(1) 相談等の受付

相談・援助内容	相談件数 (延べ)	相談人数 (延べ)
① 介護予防支援事業に関すること	10,595 件	2,601 人
② 総合相談支援に関すること	2,907 件	1,003 人
③ 権利擁護事業に関すること	202 件	26 人
④ 包括的継続的支援に関すること	51 件	17 人
⑤ 実態調査	128 件	105 人
⑥ 苦情に関すること	0 件	0 人
合 計	13,883 件	3,752 人

(2) 介護予防等事業の実施

事業名	回数
介護予防事業（介護予防教室）、介護者教室等	30回
講師派遣、他団体への協力等	15回
街かど相談室、ケアマネ相談室	4回

(3) 喜多方市及び関係機関との連携及び協力

会議等名	回数
地域包括支援センター連絡会	12回
介護保険事業関連事業者連絡協議会（8部会）	35回

グループホーム運営推進会議	48回
地域密着型特定施設運営推進会議	47回
各地区民生児童委員協議会定例会	145回
権利擁護担当者会議、虐待対応会議	13回
専門職員研修会、会議等への参加	74回
介護相談員定例会	10回
老人ホーム入所判定会への出席	1回

1) 地域ケア会議（包括ケア会議・地域ケア会議）

高齢者個別のケースに対して、医療、介護等の多職種が協働して課題の解決を図るため、地域ケア会議を開催した。

開催回数 29回（3層個別ケア会議 25回 2層包括ケア会議 4回）

2) 介護予防支援計画

自立した日常生活を継続できるよう支援するため、介護予防のための健康増進を図り、また、介護が必要となった際の身体能力の維持・向上のため介護予防支援計画を作成。

計画件数 5,631件

（うち委託件数） 1,247件

5. 生活サポートセンター事業（生活困窮者自立相談支援事業）

生活困窮者自立支援制度に基づき、喜多方市の要請を受けて生活サポートセンター事業を受託し、就業や生活上の不安、心配ごとを抱え経済的に困窮している方の相談に応じている。

また、平成29年4月1日より家計改善支援事業を受託し、支払いや負債などの相談に応じ、健全な家計に向けての支援を行っている。

（1）生活困窮者に対する包括的相談支援事業

新規相談	26名
継続支援	40名
自立支援プラン 策定件数	45件
	家計再生プラン 14件
就労決定件数	11件
支援実施延べ回数	2,406回 (面接相談、電話相談、訪問相談、同行支援、 支援調整会議、他機関への照会等)

※なお、プラン策定にならない方に関しては、関係機関につなぐ等の対応をした。

(2) 関係機関とのネットワークの構築と社会資源の開発

民生児童委員や福島県社会福祉協議会をはじめとする関係機関との連携を図り、生活困窮者相談支援の充実に努めた。

また、社会福祉法人や企業等を訪問し制度説明や就労支援についての周知を行い顔の見える関係づくりに努めた。

(3) 支援調整会議の実施

喜多方市社会福祉課及びハローワーク等と定期の会議を開催し、相談者の生活状況改善に向けて支援計画の検討や意見交換を行った。

平成30年度開催 12回

(4) 小口生活援助資金の貸付

低所得者の緊急な経済的問題を解決し、安定した生活が送れるよう資金を貸し付け、必要な援助指導を行った。

3月末貸付件数 53件 (2,470,000円)

(5) 生活福祉資金(福祉資金、緊急小口資金)の貸付

福島県社協の資金である生活福祉資金貸付けの手続きを行い、必要な援助を行った。

3月末受付件数 9件 (3,571,000円)

(6) 高額療養費の貸付

高額療養費支払いに困窮する者に対し資金を貸し付け、その世帯の経済的自立を助長し、生活の安定を図った。

3月末貸付件数 2件 (589,170円)

(7) フードバンク事業

コープ東北サンネット事業連合との協定により食料品の提供を受け、生活困窮者に対し食料品の提供を行った。(平成27年10月23日協定締結)

平成30年度提供実績 41世帯(延べ109回)

こども食堂(2箇所) 延べ20回

(8) 広報・周知について

生活サポートセンターの周知に関し、関係機関を通して市民ヘリーフレット配布を行うとともに、市の広報2回、社協広報で4回の掲載を行うほか、FMきたかた「茶の間のふくし」番組出演しPR活動に努めた。

6. 東日本大震災・福島第一原子力発電所事故避難者に対する支援

(1) 避難をされている方への情報提供

大熊町をはじめから東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故により避難を余儀なくされている方に対し、喜多方市総合福祉センター２階に情報スペースを設置し、情報の提供に協力した。

7. 日本赤十字社への協力

(1) 人道・博愛を目的とした日本赤十字社事業に対して社資募集に係る協力を行った。

社資実績額 7,682,706円

達成率 105.9%

8. 共同募金・歳末たすけあい運動への協力

行政区長会、民生児童委員協議会を始め多くの市民の協力を得て、民間社会福祉事業の財源となっているこの運動に精力的に協力した。

共同募金実績 8, 263, 227円

歳末たすけあい募金実績 4, 155, 705円

○街頭募金の実施

・COOP-BESTA ひがし店 ・COOP-VALUE プラザ ・ヨークベニマル喜多方店
・リオン・ホール・デンスクエア喜多方西店 ・リオン・ドール・仲町店 ・ブイチェーン喜多方店
・COOP-VALUE しおかわ店 ・COOP-VALUE とねがわ店 計 8カ所

※募金ボランティア参加者 小学生 6名、中学生 9名、高校生30名、
一 般 7名 計 52名

○イベント募金の実施

・第2回ふれあいきたかた社協まつり ・第14回喜多方市社会福祉大会
・あつしおかのう文化祭 ・塩川町文化祭 ・ふるさと山都の文化祭
・たかさとまち文化祭 計 6ヵ所

○その他募金の実施

募金型自動販売機やガチャガチャ募金の設置